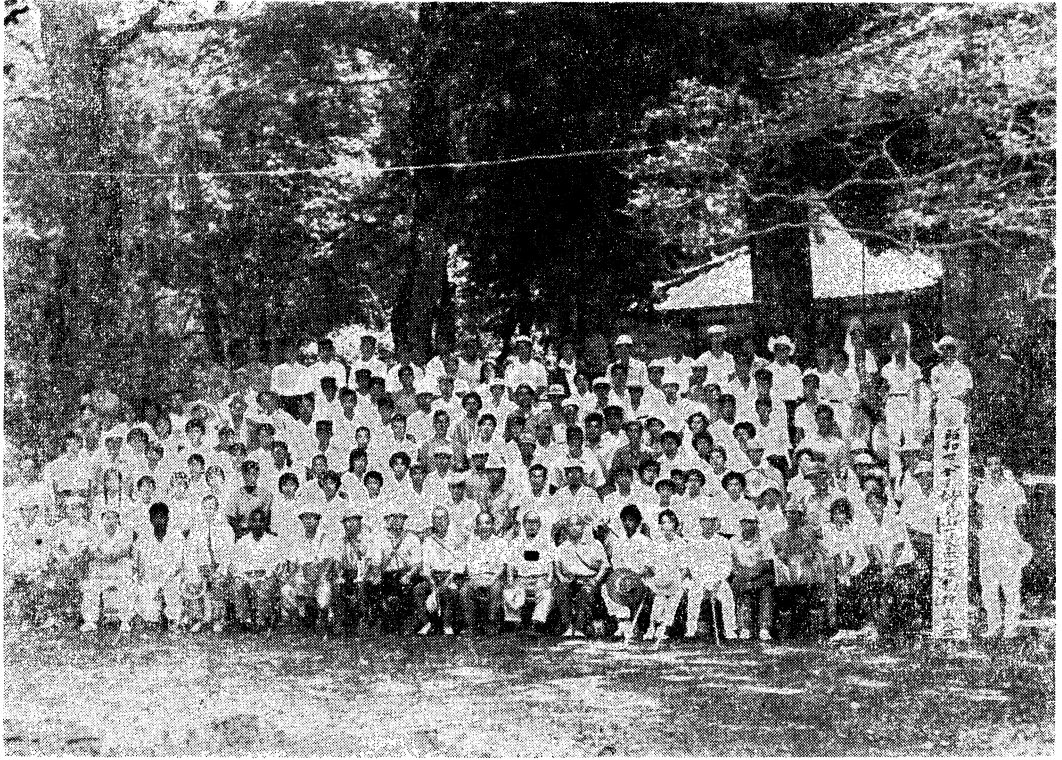


夏期妙見山採集会に参加して

西 村 真 之 助



兵庫県生物学会が、夜来の雨の晴れ上った霊峰但馬妙見山に於て採集会を開催されたことに感謝し、よろこんで参加させていただいた。参加された会員は但馬を中心とした高校、中学校、小学校の先生方と阪神、播州、丹有地方や遠くは鳥取、広島からの参加者、さらに民間の方の姿も見られ、学生、生徒の方も加わり、ことに女性の方も多く盛会であった。

斯会の権威者、安藤久次先生（広島大学）越智春美先生（鳥取大学）奥谷禎一先生（兵庫農大）の行き届いたご指導には参加者全員が満足して疲れを感じさせない。おのずとみんなの胴乱、野冊もはちぎれそうにふくらみ県立自然公園但馬妙見山の生物が非常に豊富であることを感じさせ、実に収穫の多い採集会であった。

この収穫の多い採集会の陰の功労者である会場の妙見山日光院の住職森田祐親氏を忘れることはできない。氏は昨年私費を投じて、妙見山資料館を日光院の境内に完成し、妙見山を中心とした生物その他を陳列し一般に公

開してこの方面の研究に援助を賜わっていることに紙上を借りて厚く感謝申し上げる次第であります。

この資料館はまだそう大きくはありませんが、個人の方が設立されている点では稀なものだと思います。今日の朝日新聞でこの資料館の博物館協会に加入が認められたことが報ぜられている。この機会にこの資料館をより多くの人が利用されることをお奨めいたしますとともに、この資料館がますます拡充されることを祈念いたします。

後になりましたが、この採集会で地元（石原部落）の方々が宿舎その他に非常に協力を賜わったことは参加者の誰もが採集会の印象とともに感銘を深くして帰っていったことです。

最後に、この採集会を主催しお世話いただいた兵庫県生物学会但馬支部の先生方のご努力に敬意と感謝を申し上げ、今後ますます高等学校、中学校、小学校が一体となってこの道の研究が進展しますことを念願いたします。